

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

7月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は4件（前月比0.1、前年同月比0.1）でした。本年の1月をピークに連続して減少しています。例年の季節性インフルエンザ発生状況と同様に、ほぼ収束しているものと推測されます。

### 小児科定点

（全体傾向）

報告数は3,366件（前月比0.86、前年同月比0.65）と前月および前年に比し減少傾向です。ヘルパンギーナ（前月比2.1）、RSウイルス（前月比4.8）が増加傾向にありますが、感染性胃腸炎（前月比0.7）、A群溶連菌咽頭炎（前月比0.6）の減少が大きな減少理由です。感染性胃腸炎は例年と変わらない減少傾向です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 105件（前月比4.8、前年同月比1.6）と増加傾向です。年々ピークの時期が早くなる傾向にありますので今後の注意が必要です。1才にピークがあります。
2. 咽頭結膜熱 : 47件（前月比0.6、前年同月比0.4）で、例年とほぼ同様の傾向です。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 232件（前月比0.6、前年同月比0.9）で、例年同様、減少傾向にあります。5才にピークがあります。
4. 感染性胃腸炎 : 1,204件（前月比0.7、前年同月比1.0）で、本年5月をピークに減少傾向にあります。菊池（50.6）有明（38.6）八代（36.0）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
5. 水痘 : 26件（前月比0.6、前年同月比0.4）で、本年に入りほぼ横ばいですが、昨年よりさらに少ない傾向にあります。2014年10月に予防接種が定期になり、以降全国的にも患者が減少しています。
6. 手足口病 : 1,068件（前月比1.0、前年同月比0.5）で、1年おきに流行を繰り返していましたが、昨年の流行期と比べ少ないですが2年続けて流行しています。菊池（44.4）、八代（38.5）からの報告が多いです。
7. 伝染性紅斑 : 7件（前月比1.8、前年同月比1.0）で、昨年よりずっと1ケタ台で推移しています。
8. 突発性発疹 : 149件（前月比0.9、前年同月比1.1）でした。ほぼ例年と同じ傾向で、やや夏に多い傾向です。
9. ヘルパンギーナ : 279件（前月比2.1、前年同月比0.3）で、例年とほぼ同様に7月にピークを迎えています。天草（17.0）人吉（10.7）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
10. 流行性耳下腺炎 : 23件（前月比0.7、前年同月比0.4）で、昨年、一昨年と比較し減少しています。全国的に4-5年ごとに大きな流行を繰り返しています。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。

2. 流行性角結膜炎 : 報告数 77 件(前月比 1.0、前年同月 1.3)と前年よりも若干増加しています。熊本 74 件、有明 3 件の報告です。年齢別では 2~3 歳、10~14 歳、30~49 歳の 3 層にピークが見られます。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

### 1. 性器クラミジア感染症 :

報告数 45 件(前月比 0.7、前年同月比 1.0)で、前月比では減少、前年比では同数でした。男女別は、女性に 25 件と多く見られました。年齢別は、男性は 20~54 歳に幅広く見られ、女性は 20~24 歳に 12 件と多く見られています。地区別は、熊本が 30 件と多く、次いで宇城 5 件、有明 4 件、菊池、御船、八代に各 2 件でした。

### 2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :

報告数 34 件(前月比 1.3、前年同月比 4.3)で前月比はやや増加、前年比では著明に増加しています。男女別は、男性に 18 件とやや多く見られました。年齢別は、男性は 20~70 歳以上、女性も 20~70 歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が 22 件と多く、次いで八代 6 件、有明に 3 件、菊池、御船、宇城各 1 件でした。

### 3. 尖圭コンジローマ :

報告数 14 件(前月比 1.2、前年同月比 4.7)で、前月比ではやや増加、前年比は著明に増加しています。男女別は、女性に 8 件とやや多く見られました。年齢別は、男性の 25~44 歳に、女性は 15~64 歳に見られています。地区別は、熊本 8 件と多く、次いで有明 3 件、菊池 2 件、御船 1 件でした。

### 4. 淋菌感染症 :

報告数 14 件(前月比 1.8、前年同月比 0.7)で、前月比では増加、前年比では減少しています。男女別は、男性 12 件と圧倒的に多く見られました。年齢別は、男性は 20~49 歳に、女性は 15~24 歳に見られています。地区別は、熊本 10 件と圧倒的に多く、次いで宇城に 2 件、八代、有明各 1 件でした。

## 基幹定点

(月報分)

### 1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :

報告数 19 件(前月比 1.0、前年同月比 1.4)でした。12 件(63%)が 70 歳以上でした。阿蘇(4 件)、有明(4 件)が定点あたり 4.0 で多くなっています。

### 2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :

報告数 8 件(前月比 1.6、前年同月比 2.0)でした。ここ約 3 年で最高の報告数です。今後の推移に要注意です。すべて 60 歳以上で、乳幼児は報告がありません。山鹿(2 件)、有明(2 件)が定点あたり 2.0 で多くなっています。

### 3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :

報告数 0 件(前月比 +0、前年同月比 +0)でした。

(週報分)

### 1. 細菌性髄膜炎 :

報告数 0 件(前月 -1、前年同月 -1)でした。

### 2. 無菌性髄膜炎 :

報告数 2 件(前月比 0.5、前年同月比 0.4)でした。熊本 2 例です。5~9 歳と 30~34 歳で各 1 件です。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数8件（前月比 8.0、前年同月比 1.3）でした。半年ぶりの5件越えです。熊本が7件と多く見られます。年齢は10-14歳が3件、1-4歳が2件でした。今後の推移に要注意です。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月 +0、前年同月 +0）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数1件（前月比 0.5、前年同月比 0.2）でした。

## 届け出対象感染症

1類感染症	： ありませんでした。	
2類感染症	： 結核	19件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	7件
4類感染症	： E型肝炎	1件
	重症熱性血小板減少症候群	1件
	日本紅斑熱	1件
	レジオネラ症	4件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	ウイルス性肝炎	2件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	梅毒	10件
	百日咳	5件